

平成19年度小豆生育状況 (8月15日現在)

平成19年8月17日 各支庁発表

支庁	区分		本年	平年差	評価	生育期節	遅速日数	摘要
十勝	草丈	cm	49.8	101%	平年並		遅2日	8月上旬は、前線や台風5号などの影響により、曇天雨の日が多かった。この期間の平均気温は22.2と平年に比べ1.5高く、日照時間は平年の68%、降水量は平年の155%であった。中旬は太平洋高気圧に覆われ、12日には浦幌町で今期初の猛暑日を記録するなど、平均気温は高めに推移している。
	葉数	枚	10.4	102%	平年並			
	分枝数	本/m ²	-	-	-			
	着莢数	本/m ²	55.1	57%	少ない			
	主莖節数	節	-	-	-			
	播種	%	-	-	-			
空知	草丈	cm	49.4	-2.9	短い		早1日	8月前半の気象は、前線などの影響により、雨や曇りの日が多かったが、期間の終わりは高気圧に覆われ晴れた。平均気温は平年より高く、降水量は平年より多く、日照時間は平年より少なく経過した。今後1ヶ月の気象は、気温は平年並みが高く、降水量及び日照時間は、平年並みの見込みである
	葉数	枚	10.7	+0.3	平年並			
	分枝数	本/m ²	-	-	-			
	着莢数	本/m ²	168.9	-39.2	少ない			
	主莖節数	節	-	-	-			
	播種	%	-	-	-			
網走	草丈	cm	51.2	102%	平年並		遅5日	8月前半(8月1日～15日)は、10日頃までは活発な前線の影響でくずついた天気の日が多く、一部地域では短期間に雷を伴った強い雨が降った。特に10日には、多い所で70mmの降雨があった。気温は3～6日にかけて平年より低かったものの、それ以外の日は平年より高く、特に2日、12～15日は真夏日になった所が多かった。降水量は内陸部は短期間に強い雨が降った日が多く、平年より多くなったが、それ以外の地域では平年並みだった。日照時間は平年より少なかった。
	葉数	枚	10.4	103%	平年並			
	分枝数	本/m ²	-	-	-			
	着莢数	本/m ²	51.2	52%	少ない			
	主莖節数	節	-	-	-			
	播種	%	-	-	-			
上川	草丈	cm	50.3	105%	平年並		±0日	この期間、11日までは前線の影響により、降水量は多く日照時間は少なかったが、12日以降は真夏日が4日間続いた。気温は期間を通して高く推移し、降水量は前線の影響で多く、日照時間は11日まで曇天の日が多く少なかった。
	葉数	枚	10.9	106%	やや多い			
	分枝数	本/m ²	-	-	-			
	着莢数	本/m ²	211.2	101%	平年並			
	主莖節数	節	-	-	-			
	播種	%	-	-	-			

気象概況(十勝)

帯広観測所 ()は平年比

7月下旬	平均気温	降水量	日照時間
	19.5 (-0.6)	30mm(124.5%)	61.0時間(131.8%)
評価	やや低い	多い	多い

8月上旬	平均気温	降水量	日照時間
	22.5 (+1.5)	53mm(154.5%)	31.6時間(68.4%)
評価	高い	多い	少ない

総評

8月の気象については、前半は前線の影響により曇天雨が多かったが、干ばつ気味であった中間地帯においては恵みの雨となり、又12日以降の猛暑により十勝の草丈も平年並みまで成長し全般的に回復傾向になっております。但し着莢数が十勝で57%、網走で52%と生育面では遅れが出ております。

今後天候に恵まれれば充分回復する余地は残されております。

他の作物につきましては、大手亡、金時の生育は順調。大豆は開花期の低温により着莢数が7割程度で回復が厳しい状況にあります。又、高級菜豆類は12～15日の猛暑による落花が懸念されております。